

(43) 国際公開日
2007年3月15日 (15.03.2007)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2007/029472 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 85/10 (2006.01) B65D 5/74 (2006.01)
A24F 15/12 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2006/316255
- (22) 国際出願日: 2006年8月18日 (18.08.2006)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2005-260663 2005年9月8日 (08.09.2005) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本たばこ産業株式会社 (JAPAN TOBACCO INC.) [JP/JP];
〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 太和田俊輔 (TAWADA, Shunsuke) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区

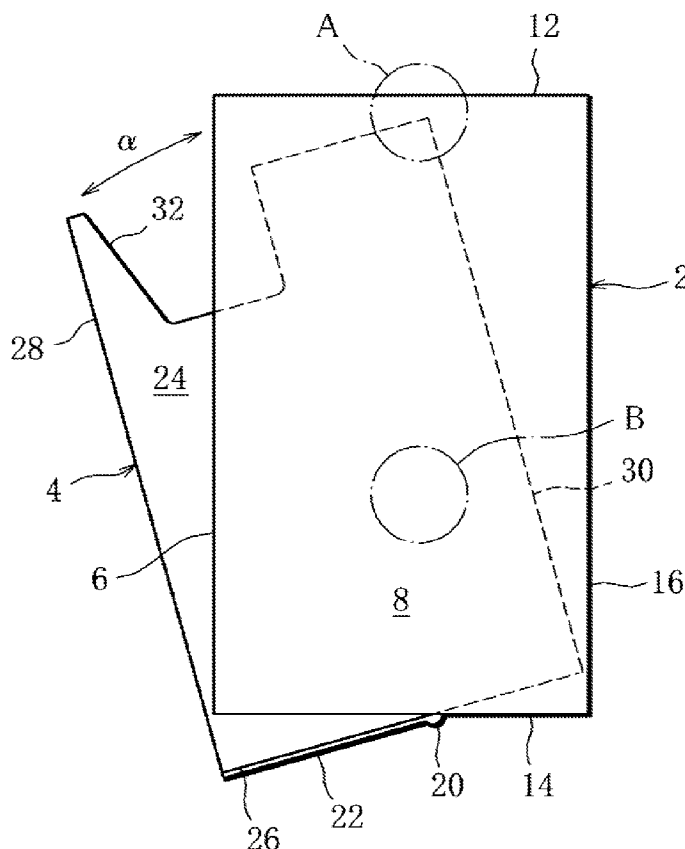
虎ノ門二丁目2番1号 株式会社J Tデザインセンター内 Tokyo (JP). 中村哲也 (NAKAMURA, Tetsuya) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 株式会社J Tデザインセンター内 Tokyo (JP).

- (74) 代理人: 長門侃二 (NAGATO, Kanji); 〒1050004 東京都港区新橋5丁目8番1号 百楽ビル5階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD,

[続葉有]

(54) Title: CIGARETTE BOX AND BLANK SET FOR THE SAME

(54) 発明の名称: シガレットボックス及びそのブランクセット



(57) Abstract: A cigarette box has an outer case and an inner case. The outer case has a movable base (22) that is at a part of the bottom wall (14) of the base and is pivotable about a hinge (20). The inner case (4) is placed in the outer case (2) and receives in it an inner pack of cigarettes. The inner case (4) is connected at only its bottom wall (26) to the movable base (22), and when pivoted together with the movable base (22) about the hinge (20), the inner case (4) is projected from an opening face (6) of the outer case (2) to a side of the outer case (2) and thereby the cigarette box is opened.

(57) 要約: シガレットボックスは、その底壁(14)の一部にヒンジ(20)の回りに回動可能な可動ベース(22)を有するアウトケース(2)と、アウトケース(2)内に配置され、内部にシガレットのインナパックを収容したインナケース(4)とを備え、インナケース(4)はその底壁(26)のみが可動ベース(22)に結合され、可動ベース22とともにヒンジ(20)の回りに回動されたとき、アウトケース(2)の開口面(6)からアウトケース(2)の側方に飛び出し、これにより、シガレットボックスは開かれる。



SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

シガレットボックス及びそのブランクセット

技術分野

- [0001] 本発明はシガレットボックス及びそのブランクセットに関し、シガレットボックスはインナパックを収容するめために使用され、インナパックはフィルタシガレットやシガレットの束と、この束を包み込む包材とを有する。

背景技術

- [0002] この種のシガレットボックスには所謂、ヒンジリッド型パッケージが多用されており、このパッケージは例えば特開平5-213340号公報に開示されているように、箱ボディと、この箱ボディを開閉するリッドとを有し、インナパックは箱ボディ内に収容されている。
- 喫煙者を含む一般の人々は、上述したパッケージの形態に長期に亘り慣れ親しんでいるので、パッケージの開閉動作が新鮮さは無く、このようなパッケージはユーザの購買意欲を喚起させる視覚的な魅力に乏しい。

本発明の目的は、ユーザの購買意欲を増進させるような斬新な開閉形態を有するシガレットボックス及びそのブランクセットを提供することにある。

発明の開示

- [0003] 上記の目的を達成するため、本発明のシガレットボックスは、アウタケースであって、開口した一側面と、プッシュ窓を有する他側壁と、開口面から前記他側壁まで延びる底壁であって、開口面側に位置付けられた一部がその残部にヒンジを介して接続され、前記一部が可動ベースとして形成されている、底壁とを含む、アウタケースと、アウタケース内に収容され、内部にインナパックを保持する一方、アウタケースのプッシュ窓を通じて押されたときに、アウタケースの開口面からアウタケースの側方に飛び出すインナケースであって、アウタケースの開口面を塞ぐアウタ側壁と、アウタケースのプッシュ窓を通じて露出するインナ側壁と、アウタケースの可動ベースに結合され、可動ベースとともにヒンジ回りのインナケースの回動を許容する底壁とを含む、インナケースと、インナケースが飛び出したとき、前記インナケースの最大回動角を規制するストッパとを備える。

[0004] 上述したシガレットボックスによれば、ユーザがアウタケースプッシュ窓を通じ、指でインナケースを押したとき、インナケースはヒンジの回りに回動し、アウタケースの開口面からアウタケースの側方に飛び出し、これにより、シガレットボックスが開かれる。このようなシガレットボックスの開状態にて、ユーザは、インナケース内のインナパックからフィルタシガレット又はシガレットの棒状喫煙物品を取出すことができる。この後、ユーザがアウタケース内にインナケースを押し戻したとき、アウタケースの開口面がインナケースのアウタ側壁により塞がれることにより、シガレットボックスは閉じられる。

[0005] 上述のシガレットボックスの開閉形態は、一般的なヒンジリッド型パッケージと比べて大きく異なり、しかも、シガレットボックスが開状態にあるとき、本発明のシガレットボックスはユニークな外観を提供し、この結果、ユーザの購買意欲を増進させることができる。

具体的には、インナケースは、このインナケースがアウタケースから飛び出したとき、アウタケースの外側に位置付けられる前記シガレットのため取り出し口を更に含む。この場合、取り出し口は、インナケースの上壁の一部からインナケースの前壁及び背壁にそれぞれ亘って形成されているのが好ましい。

[0006] より詳しくは、ストッパは、アウタケースの天井面にインナケースに係合させて前記最大回動角を決定することができる。具体的には、ストッパは、アウタケースの天井面に備えられた固定側要素と、インナケースのインナ側壁から天井面に向けて突出し、インナケースが飛び出し方向に回動されたとき、固定側要素に係合する可動側要素とを含む。

[0007] また、ストッパは、アウタケースの前壁及び背壁の少なくとも一方の内面にインナケースに係合させて前記最大回動角を決定することも可能である。具体的には、ストッパは、アウタケースの内面に備えられた固定側要素と、アウタケースの内面に対向するインナケースの内面に備えられ、インナケースが飛び出し方向に回動されたとき、固定要素に係合する可動側要素とを含む。

[0008] 更に、シガレットボックスはインナケースが最初に回動される前の状態にあるとき、アウタケースにおける前壁及び背壁のそれぞれと可動ベースとを分離可能に接続する穿孔列を更に含むことができる。

このようなシガレットボックスの場合、ストップは、アウトケースの天井面に形成された係止溝と、インナケースに設けられ、係合溝に係合したとき、インナケースの第1開度を決定する第1ストップ要素と、アウトケースの前壁及び背壁の少なくとも一方の内面に重ね合わされた係止ライナと、インナケースに設けられ、係止ライナに係合したとき、インナケースの第2開度を決定する第2ストップ要素とを含むことができ、そして、第2開度は第1開度よりも大であるのが望ましい。

[0009] 更に、本発明は、上述したシガレットボックスを成形するためのブランクセットをも提供し、このブランクセットは添付図面及び発明を実施するための最良の形態の欄の記載から明らかとなる。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]第1実施例のシガレットボックスを示した斜視図である。

[図2]図1のシガレットボックスが開かれたときのシガレットの前面図である。

[図3]図1のインナケースを成形するためのインナブランクを示す図である。

[図4]図3のインナブランクから成形されるインナケースを示す前面図である。

[図5]図1のアウトケースを成形するためのアウトブランクを示す図である。

[図6]図5のアウトブランクの折込み過程を示す図である。

[図7]図6の状態からアウトブランクが更に折り込まれた状態を示す図である。

[図8]図7の状態にあるとき、インナケースの突起とインナトップフラップとの配置関係を示した図である。

[図9]図7の状態からアウトブランクが更に折り込まれた状態を示す図である。

[図10]図9の状態からアウトブランクが更に折り込まれた状態を示す図である。

[図11]インナケースを成形するための第2実施例のインナブランクを示す図である。

[図12]図11のインナブランクから成形されたインナケースを示す図である。

[図13]アウトケースを成形するための第2実施例のアウトブランクを示す図である。

[図14]図12のインナケース及び図13のアウトブランクから成形されたシガレットボックスを一部破断して示す図である。

[図15]第3実施例のシガレットボックスを示した斜視図である。

[図16]図15のインナケースを成形するためのインナブランクを示す図である。

[図17]図16のインナブランクから形成されたインナケースを示す図である。

[図18]図15のアウトケースを成形するためのアウトブランクを示す図である。

[図19]図18のアウトブランクの折込み過程を示す図である。

[図20]図19の状態からアウトブランクが更に折り込まれた状態を示す図である。

[図21]第3実施例のシガレットボックスの第1開度及び第2開度を説明するための図である。

発明を実施するための最良の形態

[0011] 図1及び図2は第1実施例のシガレットボックスを示し、このシガレットボックスは二重構造をなし、アウトケース2及びインナケース4を含む。アウトケース2は直方体形状をなし、前壁8、背壁10、上壁12及び底壁14を有する。更に、アウトケース2は全面が開口された一方の側面、即ち、開口面6と、他方の側面、即ち、側壁16と有する。

[0012] 側壁16はその上部にプッシュ窓18を有し、このプッシュ窓18はインナケース4を部分的に露出させている。プッシュ窓18は任意の形状を有することができる。この実施例の場合、プッシュ窓18の上端は上壁12に向けて突出した3角形状をなし、全体としてプッシュ窓18は五角形状をなしている。

[0013] 図1に示されるようにアウトケース2の底壁14はそのほぼ中央にセルフヒンジ20有する。このセルフヒンジ20は底壁14を横断して延び、底壁14はセルフヒンジ20により開口面6側に位置付けられた可動ベース22と、側壁16側に位置付けられた固定残部とに区分されている。可動ベース22は、アウトケース2の前壁8及び背壁10の何れとも接続されておらず、セルフヒンジ20を中心とした回動が許容されている。

[0014] 一方、インナケース4はアウトケース2と同様な直方体形状をなし、アウトケース2内に収容可能な大きさを有する。即ち、インナケース4もまた、前壁24、背壁及び底壁26を有し、これらの壁はアウトケース2の前壁8、背壁10及び底壁14にそれぞれと重なり合う。更に、インナケース4は両側壁28、30を有しており、アウトケース2内にインナケース4が完全に収容されたとき、一方のアウト側壁28はアウトケース2の開口面6を閉塞し、他方のインナ側壁30はアウトケース2の側壁16に重なり合う。このとき、インナ側壁30の一部は、側壁16のプッシュ窓18を通じて露出する。

[0015] インナケース4の底壁26はアウトケース2に対し、アウトケース2の可動ベース22の

みに接着されている。それ故、インナケース4は、可動ベース22とともにセルフヒンジ20を中心として回動可能である。この結果、ユーザがアウトケース2のプッシュ窓18を通じてインナケース4のインナ側壁30に押したとき、図2から明らかなようにインナケース4は可動ベース22とともにセルフヒンジ20の回りに回動し、インナケース4の一部、即ち、インナケース4のアウト側壁28側の部分がアウトケース2の開口面6から側方に飛び出す。

[0016] インナケース4はその内部にインナパック(図1及び図2に図示せず)を収容しており、このインナパックはフィルタシガレットやシガレットの喫煙物品の束と、この束を包み込む包材とを含む。

更に、インナケース4の上壁は開口され、そして、インナケース4の前壁24及び背壁はそれらの上縁にアクセスノッチを有する。これらアクセスノッチはインナケース4の外側壁28側に位置付けられ、対応する壁の上縁からインナケース4の底壁26に向けて延びる略U字形状をなしている。このようなアクセスノッチはインナケース4の上端に形成された開口面とともに、インナケース4の取り出し口32を形成する。

[0017] 図2に示されているように、アウトケース2からインナケース4が飛び出したとき、インナケース4の取り出し口32はアウトケース2の外側に位置付けられ、これにより、シガレットボックスが開かれる。シガレットボックスが開状態にあるとき、ユーザは取り出し口32を通じてインナパックから喫煙物品を取り出し、取り出した喫煙物品を喫煙することができる。

[0018] 一方、図2に示されたシガレットボックスの開状態から、インナケース4がユーザによりアウトケース2内に押し込まれたとき、インナケース4の取り出し口32はアウトケース2内に移動し、アウトケース2の開口面6はインナケース4のアウト側壁28により閉塞される。即ち、シガレットボックスは開状態から図1の開状態となる。

アウトケース2からのインナケース4の許容飛び出し開度 α 、即ち、セルフヒンジ20回りのインナケース4の許容回動角を決定するため、シガレットボックスはストッパを更に含んでいる。例えば、このようなストッパは、図2中に1点鎖線の円Aで示される位置にて、アウトケース2の天井面及びインナケース4を互い係合させるか、又は、図2中の1点鎖線の円Bで示されるように、ケース2, 4のそれぞれの前壁や背壁を互いに

係合させる。なお、ストッパの具体的な構造は、後述するブラנקの説明から明らかになる。

[0019] 上述したように一実施例のシガレットボックスの場合、アウトケース2に対してインナケース4がセルフヒンジ20を中心に回動可能することにより、即ち、インナケース4のサイドスイングにより、シガレットボックスは開閉される。このようなシガレットボックスは通常のヒンジリッド型パッケージに比べて開閉形態や開状態での外観を独特なものにし、本発明のシガレットボックスに対するユーザの購買意欲を高める。

[0020] 図3は、インナケース4を成形するためのインナブラנק34の裏面を示す。

インナブラנק34は複数ずつのパネル及びフラップを含む。隣接するパネル同士やフラップ同士、又は、隣接するパネル及びフラップは破線の折込み線により互いに区画されている。

[0021] より詳しくは、インナブラנק34はその縦軸線上に並ぶリアパネル40、ボトムパネル36及びフロントパネル42を有する。ボトムパネル36の両側縁にはインナボトムフラップ44がそれぞれ接続されている。これらパネル36、40、42はインナケース4の底壁26、背壁及び前壁24をそれぞれ形成するための部分であり、インナボトムフラップ44は底壁26の補強部材を形成する。

[0022] リアパネル40の両側縁にはインナサイドフラップ46a、46bがそれぞれ接続されており、フロントパネル42の両側縁にはアウトサイドフラップ48a、48bがそれぞれ接続されている。インナ及びアウトサイドフラップ46a、48aはインナケース4の外側壁28を形成するための部分であり、インナ及びアウトサイドフラップ46b、48bはインナケース4のインナ側壁30を形成するための部分である。

[0023] 図3でみてリアパネル40の上縁の左半分及びフロントパネル42の下縁の左半分には略U字形のアクセスノッチ50がそれぞれ形成されており、そして、前記上縁及び下縁の残部にはインナトップフラップ52及びアウトトップフラップ54がそれぞれ接続されている。これらインナトップフラップ52及びアウトトップフラップ54はインナケース4の上壁を形成するための部分であり、この上壁と外側壁28との間に前述した取出し口32が確保され、この取り出し口32はアクセスノッチ50を含む。

[0024] 更に、図3でみてインナサイドフラップ46bにおける上縁の左半分はその残部よりも

僅かに突出し、前述したストッパの可動側要素としての突起56を形成する。このような突起56はアウトサイドフラップ48bの下縁に形成されていてもよいし、また、サイドフラップ46b, 48bの両方に形成されていてもよい。

[0025] 上述したブランク34の裏面には所定箇所に糊が塗布され、ブランク34のリアパネル40上にインナパックIPが置かれる。この後、ブランク34、即ち、そのフラップ及びパネルはインナパックIPの回りに順次折り込まれ、図4に示されるインナケース4が成形される。なお、インナケース4のアウト及びインナ側壁を形成するサイドフラップは互いに重ね合わされた状態で接着され、また、リアパネル40及びフロントパネル42はインナパックIPに接着される。図4から明らかなように、前述した突起56はインナケース4におけるインナ側壁30の上縁から突出する。

[0026] 図5は、アウトケース2を成形するためのアウトブランク58の裏面を示す。

アウトブランク58もまた複数ずつのパネル及びフラップを含み、隣接するパネル同士やフラップ同士、又は、隣接するパネル及びフラップは破線の折込み線により互いに区画されている。

[0027] より詳しくは、アウトブランク58はその縦軸線上の中央にサイドパネル60を含む。このサイドパネル60はアウトケース2のアウト側壁16を形成するための部分であり、図5でみてその上部に前述したプッシュ窓18を有する。

[0028] サイドパネル60の両側縁にはリアパネル62及びフロントパネル64がそれぞれ接続されており、これらパネル62, 64はアウトケース2の背壁10及び前壁8をそれぞれ形成するための部分である。サイドパネル60の上縁及び下縁にはインナトップフラップ66及びインナボトムフラップ68がそれぞれ接続されている。インナトップフラップ66は、アウトケース2の上壁12の補強部材を形成し、インナボトムフラップ68はアウトケース2の底壁14の補強部材を形成する。

[0029] ここで、図5から明らかなようにインナトップフラップ66の幅がサイドパネル60の幅よりも狭く、そして、インナトップフラップ66がフロントパネル64に隣接して位置付けられていることに留意すべきである。

リアパネル62及びフロントパネル64の他方の側縁には折込みフラップ70がそれぞれ接続されており、これら折込みフラップ70はアウトケース2における前壁8及び背

壁10のライナを形成するための部分である。

[0030] リアパネル62の下縁の一部にはアウトボトムフラップ72が接続されており、このアウトボトムフラップ72は前述したインナボトムフラップ68に隣接して位置付けられている。アウトボトムフラップ72の側縁にセルフヒンジ20を介して延長フラップ74が接続されており、この延長フラップ74はリアパネル62における下縁の残部に沿って延びている。延長フラップ74は、アウトケース2における底壁14の一部である可動ベース22を形成するための部分であり、アウトボトムフラップ72はアウトケース2の底壁14の残部を形成するための部分である。

[0031] 更に、リアパネル62の上縁にはインナトップパネル76が接続されており、このインナトップパネル76はサイドパネル60とは反対側の側縁に係止フラップ78を有する。この係止フラップ78は対応する側の折込みフラップ70の上側に位置付けられ、前述したストッパの固定側要素を形成するための部分である。

また、フロントパネル64の上縁にもアウトトップパネル80が接続されており、そして、フロントパネル64の下縁にはその一部に中間ボトムフラップ82が接続されている。この中間ボトムフラップ82はインナボトムフラップ68に隣接して位置付けられ、それ故、このインナボトムフラップ68は、アウトボトムフラップ72と中間ボトムフラップ82との間に挟み込まれるように配置されている。これらフラップ68, 72, 82はほぼ同一の形状及び大きさを有する。

[0032] 上述したアウトブランク58の裏面には所定箇所に糊が塗布され、この後、アウトブランク58は、図6～図10に示される折込み手順により折り込まれ、インナケース4を収容したアウトケース2が成形される。

より詳しくは、図6に示されるように先ず、左右の折返しフラップ70が折り込まれる。これら折返しフラップ70はリアパネル62及びフロントパネル64のそれぞれに重ね合わされる。また、折返しフラップ70の折込みと同時に、係止フラップ78もまた折り込まれ、係止フラップ78はインナトップパネル76に重ね合わされる。

[0033] この後、リアパネル62上に前述したインナケース4が置かれ、このインナケース4とリアパネル62との間に一方の折返しフラップ70が挟み込まれる。このような状態で、サイドパネル60はフロントパネル64等を伴い、インナケース4に向けて折り込まれ、イン

ナケース3のインナ側壁30に重ねあわされる。

[0034] この状態で、図7に示されるようにサイドパネル60のインナトップフラップ66及びインナボトムフラップ68はインナケース4の上壁及び底壁に向けてそれぞれ折り込まれ、これら上壁及び底壁に重ね合わされる。このとき、図8から明らかなように、インナトップフラップ66はインナケースの突起56を避けて折り込まれる。

[0035] この後、フロントパネル64はインナケース4の前壁に向けて折り込まれ、図9に示されるようにインナケース4の前壁に重ね合わされる。そして、フロントパネル64の中間ボトムフラップ82がインナケース4の底壁に向けて折り込まれる。中間ボトムフラップ82は既に折り込まれているインナボトムフラップ68に重ね合わされる。

この状態で、アウトボトムフラップ72は延長フラップ74を伴い、インナケース4の底壁に向けて折り込まれる。それ故、図10に示されるように、アウトボトムフラップ72は中間ボトムフラップ82に重ね合わされ、そして、互いに接着され、また、延長フラップ74、即ち、可動ベース22がインナケース4の底壁に接着される。

[0036] 一方、図10から明らかなようにアウトボトムフラップ72の折込みと同時に、インナトップパネル76及びアウトトップパネル80はインナケース4の上壁に向けて順次折り込まれる。これらインナ及びアウトトップパネル76, 80は互いに重ね合わされる。これらパネル76, 80は互いに接着され、アウトケース2の上壁12を形成する。この時点で、シガレットボックスが完成し、このシガレットボックスはアウト及びインナケース2, 4を含む。

[0037] インナトップパネル76の係止フラップ78はインナトップパネル76に接着されていない。それ故、図10から明らかなように、係止フラップ78は自身の復元力によりインナケース4の上壁に向けて傾斜し、この上壁に接触した先端を有する。

それ故、インナケース4がセルフヒンジ20を中心として開方向に回動されたとき、インナケース4の突起56は係止フラップ78の先端に当接し、これにより、インナケース4の回動角、つまり、アウトケース2からのインナケース4の飛び出し開度を制限する。なお、最大飛び出し開度 α (図2参照)は、シガレットボックスが閉状態にあるとき、係止フラップ78の先端と突起56との間の距離Lにより決定される。

[0038] 上述した突起56及び係止フラップ78はインナケース4のためのストッパを形成し、こ

のストッパは図2中のA位置、即ち、アウタケース2の天井面とインナケース4の上壁とを係合させる。

次に、第2実施例のシガレットボックスについて説明する。

[0039] 第2実施例のシガレットボックスは、図2中のB位置にて、アウタケース2とインナケース4とを互いに係合させることができる。第2実施例のシガレットボックスを成形するためのインナブランク34'及びアウタブランク58'について、図11～図14を参照しながら以下に説明する。

これらブランク34', 58'について説明するにあたり、説明の重複を避けるため、図11～図14中、前述したインナブランク34及びアウタブランク58のパネル及びフラップと同一の機能を発揮するパネル及びフラップには同一の参照符号が付されている。

[0040] 図11はインナケース4のためのインナブランク34'を示す。

インナブランク34'は、前述した突起56の代わりに一对のラグ領域84を有する。これらラグ領域84は、リアパネル40及びフロントパネル42のそれぞれに形成された略U字形状の孔86により得られ、これら孔86はインナ及びアウタサイドフラップ46b, 48bに隣接して位置付けられている。

[0041] より詳しくは、一对のラグ領域84は対応する側のサイドフラップ(46b又は48b)のための折込み線を共有する。これら折込み線に沿い、インナブランク34'の折込みが開始される前、一对のラグ領域84はその折込み線に沿い、リア及びフロントパネル40, 42の外表面側に向けて折り返され、ラグ85を形成する。

[0042] この後、インナブランク34'は前述のブランク34と同様にインナパックIPの回りに折りまれ、図12に示されるようなインナケース4が成形される。このとき、一对のラグ85はインナケース4の前壁及び背壁から僅かに起立し、ラグ85の先端はインナケース4のアウタ側壁28に向けられた状態にある。

[0043] 図13はアウタケース2を成形するためのアウタブランク58'を示す。

アウタブランク58'は前述した係止フラップ78に代えて、係止フラップ78の機能と同様な機能を発揮する一对の折込みフラップ88を有する。これら折込みフラップ88は係止フラップ78と同様にリアパネル62及びフロントパネル64にそれぞれ接続され、対応するパネルとは反対側の側縁は折込みフラップ88と対応するパネルとの間の

折込み線に対して傾斜している。それ故、各折込みフラップ88がリアパネル62及びフロントパネル64の裏面に向けて折り込まれ、これらパネル62、64に重ねあわされたとき、図13中の2点鎖線で示されるように、各折込みフラップ88の側縁とサイドパネル60との間の距離は、対応するパネル(62又は64)の上縁に向けて徐々に増加されている。

[0044] ここで、一对の折込みフラップ88はリアパネル62及びフロントパネル64に接着されておらず、各折込みフラップ88の側縁が対応するパネル(62又は64)から浮き上がっていることに留意すべきである。

更に、アウトブランク58'の場合、サイドパネル60の上下に位置付けられたインナトップフラップ90及びインナボトムフラップ92は同様な三角形形状をなし、そして、中間ボトムフラップ82もまた略三角形形状をなしている。

[0045] 上述したアウトブランク58'は、前述のブランク58と同様に、インナケース4の回りに折り込まれ、これにより、図14に示されるアウトケース2、即ち、シガレットボックスが完成する。

図14のシガレットボックスが閉状態にあるとき、折込みフラップ88及び対応する側のラグ85はシガレットボックスの幅方向に互いに離間している。しかしながら、インナケース4が開方向に回動されたとき、折込みフラップ88は対応する側のラグ85と係合してインナケース4の回動を阻止し、これにより、インナケース4の最大飛び出し開度 α が決定される。即ち、折込みフラップ88及びラグ85はインナケース4のためのストッパを提供する。

[0046] 本発明は上述の第1及び第2実施例に制約されることはない。

例えば、インナケース4の上壁は全体が開口されていてもよいし、アウトケース2のプッシュ窓18は五角形以外の形状を有することができる。

前述したラグ85及び折込みフラップ88はインナケース4の片側にのみに配置されていてよい。

[0047] 次に、第3実施例のシガレットボックス及びそのブランクセットについて、図15～図21を参照しながら説明する。

第3実施例を説明するにあたり、第1及び第2実施例の部材及び部位と同様な機能

を有する部材及び部位には同一の参照符号を付し、これら部材及び部位の説明を省略する。

[0048] 図15に示されるように、第3実施例のシガレットボックスが製造された直後の状態にあるとき、可動ベース22はアウタケース2の前壁8及び背壁10のそれぞれに穿孔列94を介して接続されている。それ故、可動ベース22は穿孔列94に沿ってアウタケース2から分離可能であり、可動ベース22がアウタケース2から分離された後、インナケース4は前述したようにセルフヒンジ20の回りに回動可能、つまり、シガレットボックスが開閉可能となる。

[0049] 上述したようにシガレットボックスの製造直後において、可動ベース22がアウタケース2に分離可能に接続されていれば、アウタケース2の前壁8及び背壁10の下縁が可動ベース22の側縁から浮き上がることはない。このような前壁8及び背壁10の下縁の浮き上がりは、シガレットボックスが透明なフィルムにより更に包み込まれるとき、フィルム包装の障害となる。しかしながら、第3実施例の場合、前壁8及び背壁10における下縁の浮き上がりは阻止されているので、シガレットボックスのフィルム包装は安定して実施される。

[0050] 更に、図15から明らかなように、アウタケース2のプッシュ窓18は側壁16の長手方向でみて中央に位置付けられ、そして、側壁16の上部にはマーク96が形成されている。このようなマーク96は、シガレットボックスの上壁12がプッシュ窓18の何れの側にあるのかをユーザに明瞭に示す。それ故、ユーザは、可動ベース22が下向きとなるようにシガレットボックスを正しく保持した状態で、インナケース4の回動操作を行うことができる。

[0051] 図16は、第3実施例のインナケース4を成形するためのインナブランク98を示す。このインナブランク98は、図3の突起56と同様な機能を発揮する突起56'を有するとともに、図11のインナブランク34'の一对のラグ領域84と同様な機能を発揮する一对のラグ領域84'を含む。突起56'はインナサイドフラップ46bの幅方向でみて、インナサイドフラップ46bの中央に位置付けられ、そして、ラグ領域84'は円弧状の先端を有する。

[0052] 図16のインナブランク98はインナパックIPの回りに折り込まれ、これにより、図17に

示されるインナケース4が成形され、このインナケース4はラグ領域84'から形成されたラグ85を有する。

[0053] 図18は、第3実施例のアウトケース2を成形するためのアウトブランク100を示す。このアウトブランク100は、リアパネル62の上縁に折込み線を介して接続されたアウトトップパネル80と、フロントパネル64の上縁に折込み線を介して接続されたインナトップパネル76とを含む。インナトップパネル76は、図5の係止フラップ78と同様な機能を発揮する係止溝102を有する。この係止溝102はフロントパネル64の幅方向でみてインナトップパネル76の中央に位置付けられ、インナトップパネル76の上縁からフロントパネル64に向けて延び、そして、前述した突起56'の厚みよりも大きな幅を有する。

[0054] また、アウトブランク100は、図13の折込みフラップ88と同様な機能を発揮する一対の折込みフラップ88'を含む。これら折込みフラップ88'は折込みフラップ88とは異なり、その折込み線と実質的に平行な外側縁を有する。折込みフラップ88'の外側縁には切込み溝104, 106が形成され、これら切込み溝104, 106は折込みフラップ88'の外側縁を3つの部分に分離する。

[0055] 図18から明らかなように、リアパネル62の下縁にはアウトボトムパネル108が前述した穿孔列94及び折込み線を介して接続されている。アウトボトムパネル108はセルフヒンジ20を形成するための折込み線110を有し、この折込み線110は、アウトボトムパネル108を図13のアウトボトムフラップ72及び延長フラップ74のそれぞれ対応する2つの領域72', 74'に区画する。

[0056] 更に、フロントパネル64の下縁にはインナボトムパネル112が穿孔列94及び折込み線を介して接続されている。このインナボトムパネル112もまた折込み線110を有し、この折込み線110はインナボトムパネル112を2つの領域72', 74'に区画する。

図18のアウトブランク100は前述した図17のインナケース4の回りに折り込まれるが、この折込みに先立ちは、アウトブランク100の一対の折込みフラップ88'はリアパネル62及びフロントパネル64に向けて折り込まれ、これらパネル62, 64にそれぞれ重ね合わされる。

[0057] この後、図19に示されるように、リアパネル63上にインナケース4が載せられた後、

サイドパネル60がインナケース4の側壁30に向けて折り込まれ、そして、フロントパネル64がインナケース4の前壁に向けて折り込まれ、アウトブランク100は図20に示される状態となる。

この後、サイドパネル60のインナトップフラップ90がインナケース4の上面に向けて折り込まれた後、インナトップパネル76及びアウトトップパネル80がインナケース4の上面に向けて順次折り込まれる。これらインナトップパネル76及びアウトトップパネル80は互いに重ね合わされると同時に接着され、これにより、アウトケース2の上壁12が形成される。

[0058] 一方、上述の折込みと同時に、サイドフラップ60のインナボトムフラップ92がインナケース4の底面に向けて折り込まれ、この後、インナボトムパネル112及びアウトボトムパネル108がインナケース4の底面に向けて順次折り込まれる。これらインナボトムパネル112及びアウトボトムパネル108は互いに重ね合わされると同時に接着され、これにより、アウトケース2の底壁14が形成される。

[0059] より詳しくは、インナボトムパネル112及びアウトボトムパネル108の折込み線110は互いに合致してセルフヒンジ20を形成し、そして、インナボトムパネル112の領域74'はインナケース4の底面に接着され、この時点で、シガレットボックスの成形が完了する。この結果、アウトケース2の底壁14には、インナボトムパネル112及びアウトボトムパネル108の領域74'によって可動ベース22が形成され、この可動ベース22はアウトケース2の前壁8及び背壁10のそれぞれに穿孔列94を介して接続されている。

[0060] シガレットボックスのインナケース4がプッシャ窓18を通じて押されたとき、底壁14の可動ベース22は穿孔列94に沿ってアウトケース2から分離される。それ故、インナケース4はセルフヒンジ20の回りに回動し、アウトケース2の開口面6から側方に向けて突出する。

[0061] このとき、図21中の1点鎖線で示されるように、インナケース4の突起56'がアウトケース2における上壁12(インナトップパネル76)の係止溝102に到達したとき、この係止溝102の内縁に突起56'が係止される。従って、インナケース4の回動が一時的に阻止され、シガレットボックスは第1の開姿勢となる。このとき、インナケース4のラグ85

とアウトケース2の折込みフラップ88'との間には所定の間隔が確保されている。

[0062] この後、インナケース4がプッシャ窓18を通じて更に押し出されるか、又は、アウトケース2から突出したインナケース4の部位が外側に更に引っ張られたとき、突起56'と係止溝102との係合が解除され、インナケース4は、図21中の2点鎖線で示されるようにラグ85が折込みフラップ88'に係合するまで更に回転する。従って、シガレットボックスは前述した第1の開姿勢よりも、インナケース4の取出し口32を大きく開いた第2の開姿勢に保持される。即ち、上述した第3実施例のシガレットボックスは第1及び第2の開姿勢をとることができる。

この後、インナケース4がアウトケース2内に押し戻されたとき、インナケース4はアウトケース2内に完全に収容される。

請求の範囲

- [1] インナパックを収容し、このインナパックがシガレットの束及びこの束を包み込む包材を含む、シガレットボックスは、
アウタケースであって、
開口した一側面と、
プッシュ窓を有する他側壁と、
前記開口面から前記他側壁まで延びる底壁であって、前記開口面側に位置付けられた一部がその残部にヒンジを介して接続され、前記一部が可動ベースとして形成されている、底壁と
を含む、アウタケースと、
前記アウタケース内に収容され、内部に前記インナパックを保持する一方、前記アウタケースの前記プッシュ窓を通じて押されたときに、前記アウタケースの前記開口面から前記アウタケースの側方に飛び出すインナケースであって、
前記アウタケースの前記開口面を塞ぐアウタ側壁と、
前記アウタケースの前記プッシュ窓を通じて露出するインナ側壁と、
前記アウタケースの前記可動ベースに結合され、前記可動ベースとともに前記ヒンジ回りの前記インナケースの回動を許容する底壁と
を含む、インナケースと、
前記インナケースが飛び出したとき、前記インナケースの回動を規制するストッパとを備える。
- [2] 請求項1に記載のシガレットボックスにおいて、
前記インナケースは、このインナケースが前記アウタケースから飛び出したとき、前記アウタケースの外側に位置付けられる前記シガレットのため取り出し口を更に含む。
- [3] 請求項2に記載のシガレットボックスにおいて、
前記取り出し口は、インナケースの上壁の一部からインナケースの前壁及び背壁にそれぞれ亘って形成されている。
- [4] 請求項1に記載のシガレットボックスにおいて、

前記ストップパは、前記アウトケースの天井面に前記インナケースに係合させて、前記インナケースの最大回動角を決定する。

[5] 請求項4に記載のシガレットボックスにおいて、

前記ストップパは、前記アウトケースの天井面に備えられた固定側要素と、前記インナケースの前記インナ側壁から前記天井面に向けて突出し、前記インナケースが前記飛び出し方向に回動されたとき、前記固定側要素に係合する可動側要素とを含む。

[6] 請求項1に記載のシガレットボックスにおいて、

前記ストップパは、前記アウトケースの前壁及び背壁の少なくとも一方の内面に前記インナケースに係合させて、前記インナケースの最大回動角を決定する。

[7] 請求項6に記載のシガレットボックスにおいて、

前記ストップパは、前記アウトケースの前記内面に備えられた固定側要素と、前記アウトケースの前記内面に対向する前記インナケースの内面に備えられ、前記インナケースが前記飛び出し方向に回動されたとき、前記固定要素に係合する可動側要素とを含む。

[8] 請求項1に記載のシガレットボックスにおいて、

前記インナケースが最初に回動される前の状態にあるとき、前記シガレットボックスは、前記アウトケースにおける前壁及び背壁のそれぞれと前記可動ベースとを分離可能に接続する穿孔列を更に含む。

[9] 請求項8に記載のシガレットボックスにおいて、

前記ストップパは、

前記アウトケースの天井面に形成された係止溝と、

前記インナケースに設けられ、前記係合溝に係合したとき、前記インナケースの第1開度を決定する第1ストップ要素と、

前記アウトケースの前壁及び背壁の少なくとも一方の内面に重ね合わされた係止ライナと、

前記インナケースに設けられ、前記係止ライナに係合したとき、前記インナケースの第2開度を決定する第2ストップ要素と

を含む。

- [10] 請求項9に記載のシガレットボックスにおいて、
前記第2開度は前記第1開度よりも大である。

- [11] 請求項5のシガレットボックスを成形するためのブランクセットは、
前記インナケースを成形するためのインナブランクと、
前記アウトケースを成形するためのアウトブランクと

を備え、

前記インナブランクは、

前記インナブランクの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記インナケースの背壁、底壁及び前壁をそれぞれ形成する、リアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続されたインナサイドフラップと、

前記フロントパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続され、前記インナサイドフラップと協働して前記インナケースのアウト側壁及びインナ側壁を形成するアウトサイドフラップと、

前記インナ側壁を形成する前記インナ及びアウトサイドフラップの少なくとも一方に、前記インナ側壁の上縁から突出すべく備えられ、前記可動側要素を形成する突起と

を含み、

前記アウトブランクは、

前記アウトブランクの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、サイドパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記アウトケースの背壁、側壁及び前壁をそれぞれ形成し、且つ、前記サイドパネルに前記プッシュ窓が形成されている、リアパネル、サイドパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの一方に折込み線を介して接続され、前記アウトケースにおける底壁の外面を形成するボトムフラップと、

前記ボトムフラップにヒンジを介して接続され、前記アウトケースの前記可動ベースを形成する延長フラップと、

前記フロントパネル及びリアパネルの一方に折込み線を介して接続され、前記アウトケースにおける上壁の内面を形成するトップフラップと、

前記トップフラップに折込み線を介して接続され、前記上壁の内面に向けて折り込まれ、前記ストッパの固定側要素を形成する係止フラップとを含む。

[12] 請求項7に記載のシガレットボックスを成形するためのブランクセットは、

前記インナケースを成形するためのインナブランクと、

前記アウトケースを成形するためのアウトブランクと

を備え、

前記インナブランクは、

前記前記インナブランクの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記インナケースの背壁、底壁及び前壁をそれぞれ形成する、リアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続されたインナサイドフラップと、

前記フロントパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続され、前記インナサイドフラットと協働して前記インナケースのアウト側壁及びインナ側壁を形成するアウトサイドフラップと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの少なくとも一方のパネルの一部から形成され、前記インナケースに可動側要素としてのラグを形成するための領域とを含む、

前記アウトブランクは、

前記アウトブランクの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、サイドパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記アウトケースの背壁、側壁及び前壁をそれぞれ形成し、且つ、前記サイドパネルに前

記プッシュ窓が形成されている、リアパネル、サイドパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの一方に折込み線を介して接続され、前記アウトケースにおける底壁の外面を形成するボトムフラップと、

前記ボトムフラップにヒンジを介して接続され、前記アウトケースの前記可動ベースを形成する延長フラップと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの一方に折込み線を介して接続され、前記アウトケースの上壁を形成するトップフラップと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの一方のパネルに折込み線を介して接続され、前記アウトケースの内面に前記固定側要素を提供する折込みフラップとを含む。

[13] 請求項10に記載のシガレットボックスを成形するブランクセットは、

前記インナケースを成形するためのインナブランクと、

前記アウトケースを成形するためのアウトブランクと

を備え、

前記インナブランクは、

前記インナブランクの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記インナケースの背壁、底壁及び前壁をそれぞれ形成する、リアパネル、ボトムパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続された第1サイドフラップと、

前記フロントパネルの両側縁に折込み線を介してそれぞれ接続され、前記第1サイドフラットと協働して前記インナケースのアウト側壁及びインナ側壁を形成する第2サイドフラップと、

前記インナ側壁を形成する前記第1及び第2サイドフラップの少なくとも一方に、前記インナ側壁の上縁から突出すべく備えられ、前記第1ストップ要素としての突起と、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの少なくとも一方のパネルの一部から形成され、前記インナケースに前記第2ストップ要素としてラグを形成するための領域と

を含み、

前記アウトブラנקは、前記アウトブラנקの軸線上に一系列に並び且つ隣接する同士が折込み線により区画されたリアパネル、サイドパネル及びフロントパネルであって、これらパネルが前記アウトケースの背壁、側壁及び前壁をそれぞれ形成し、且つ、前記サイドパネルに前記プッシュ窓が形成されている、リアパネル、サイドパネル及びフロントパネルと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの一方のパネルの下縁に対応する前記穿孔列及び折込み線を介して接続されたインナボトムパネルであって、前記可動ベースのインナ層となる領域を区画するヒンジ線を有したインナボトムパネルと、

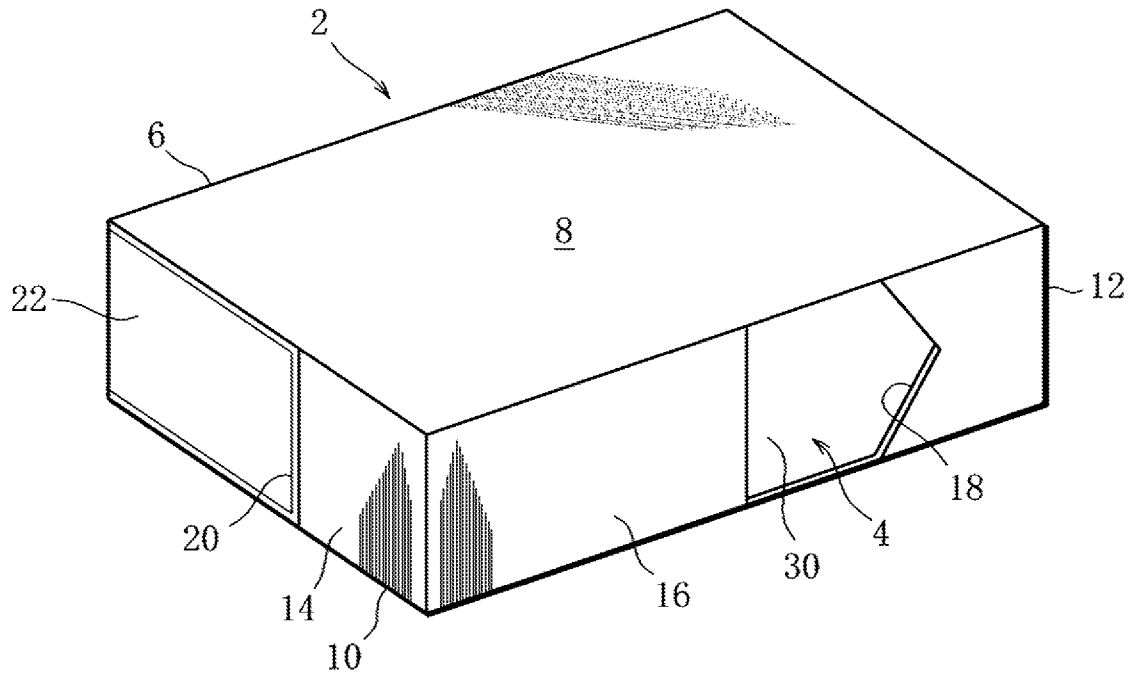
前記リアパネル及び前記フロントパネルの他方のパネルの下縁に対応する前記穿孔列及び折込み線を介して接続されたアウトボトムパネルであって、前記可動ベースのアウト層となる領域を区画し且つ前記インナボトムパネルの前記ヒンジ線とともに前記ヒンジを形成するヒンジ線とを有し、前記インナボトムパネルと協働して前記アウトケースの底壁を形成するアウトボトムパネルと、

前記リアパネル及び前記負ロットパネルの一方のパネルの上縁に折込み線を介して接続されたアウトトップパネルと、

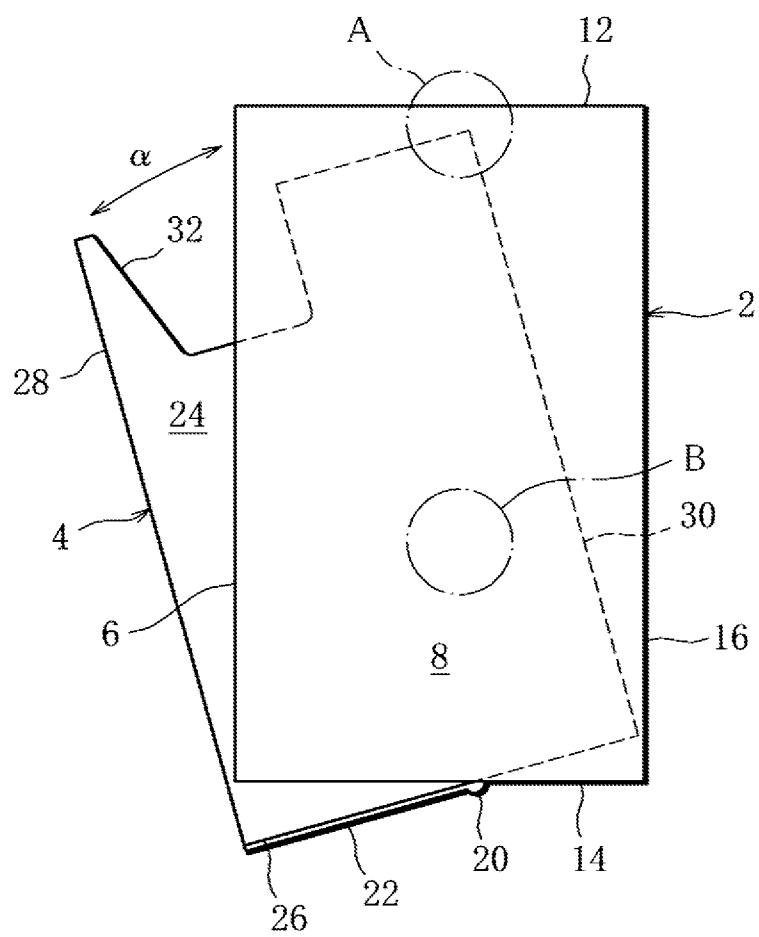
前記リアパネル及び前記負ロットパネルの他方のパネルの上縁に折込み線を介して接続され、前記アウトトップパネルと協働して前記アウトケースの上壁を形成するインナトップパネルであって、前記係止溝を有するインナトップパネルと、

前記リアパネル及び前記フロントパネルの少なくとも一方のパネルの外側縁に折込み線を介して接続され、前記係止ライナを形成する折込みフラップとを含む。

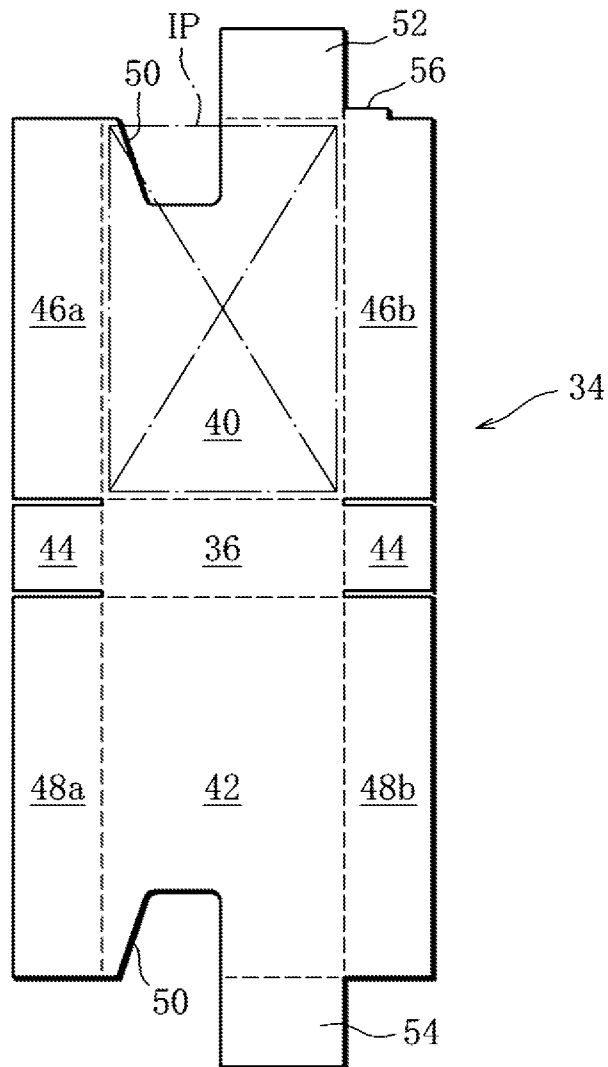
[図1]



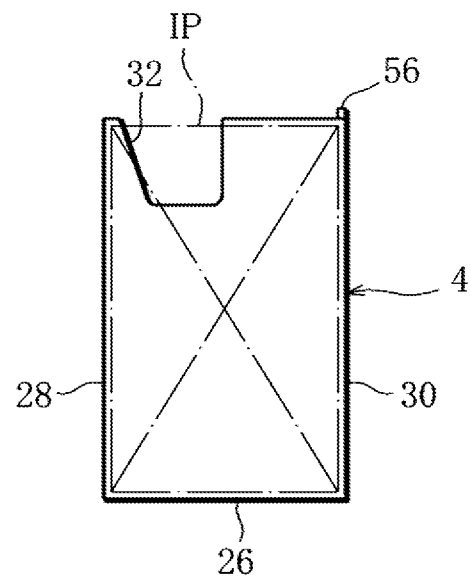
[図2]



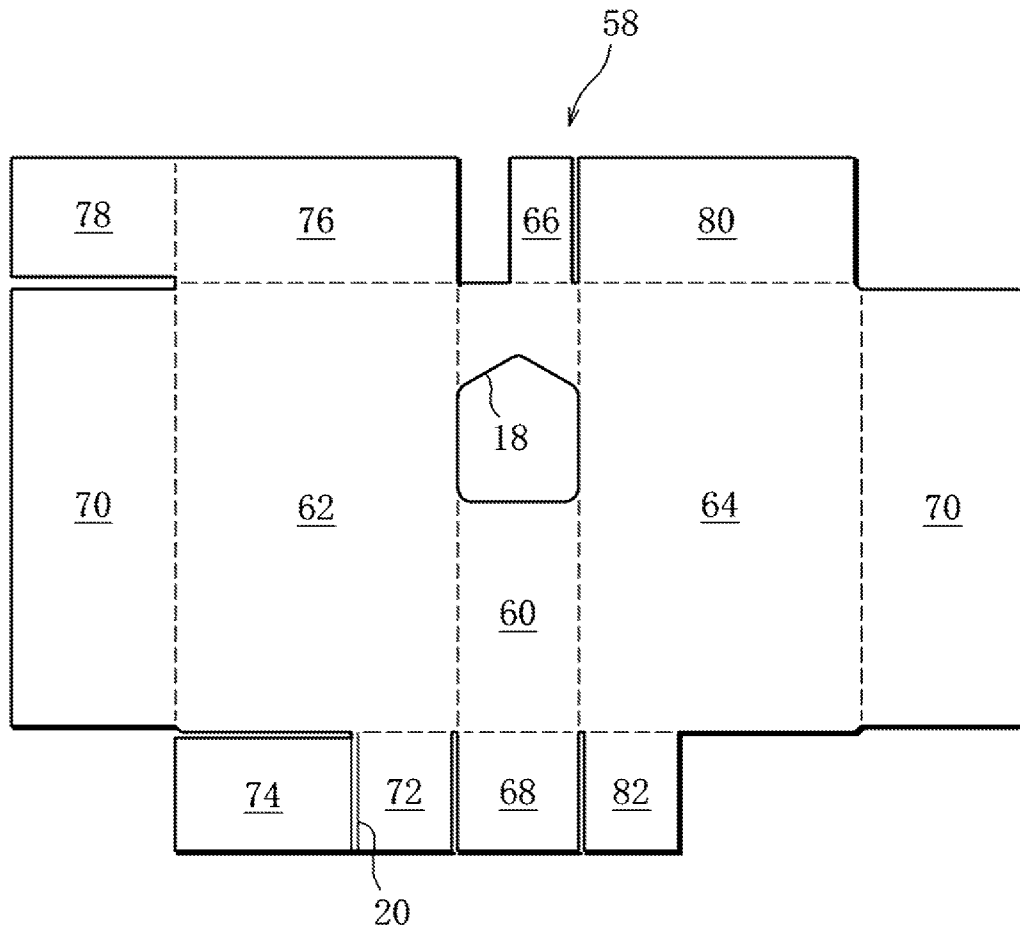
[図3]



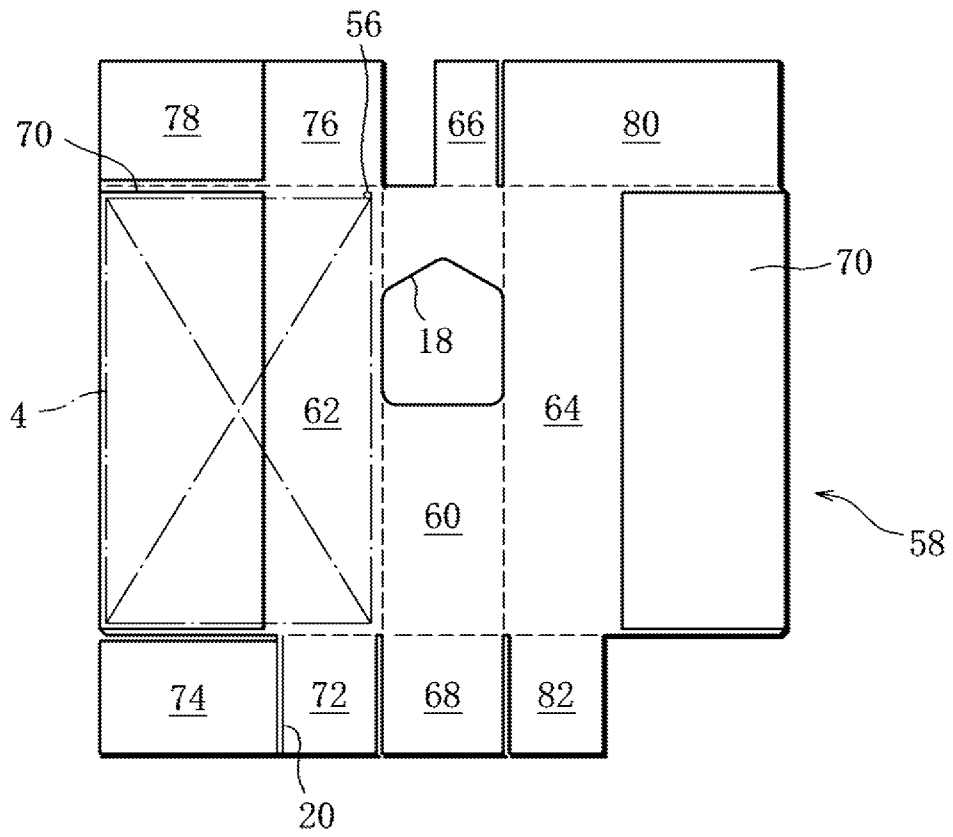
[図4]



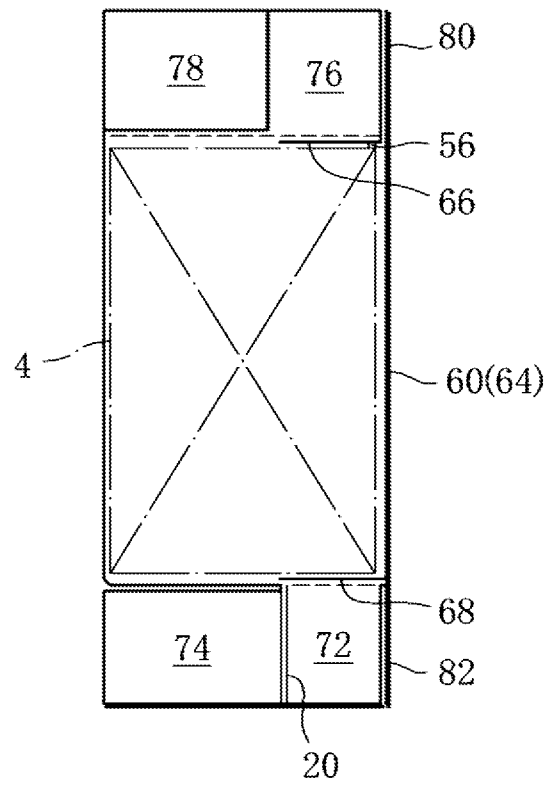
[図5]



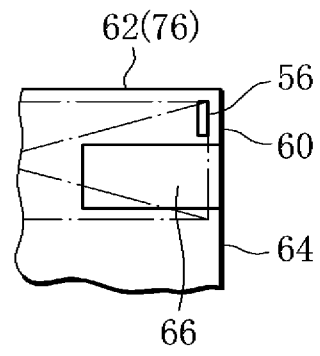
[図6]



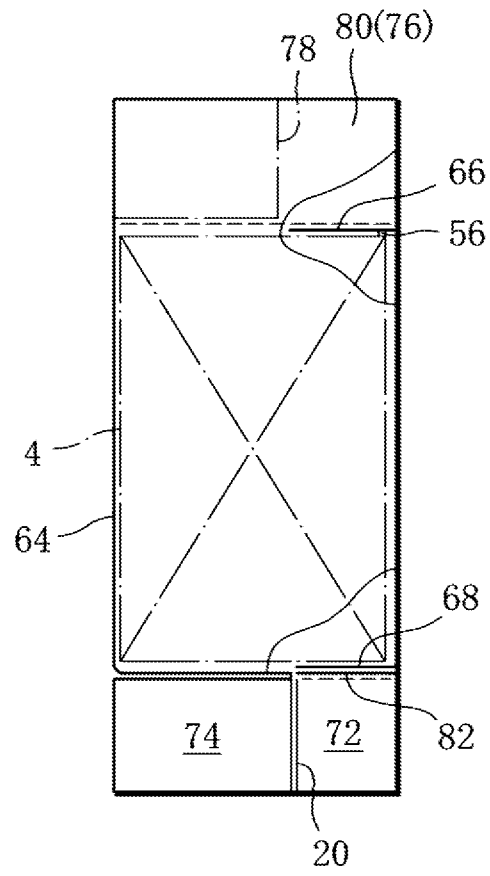
[図7]



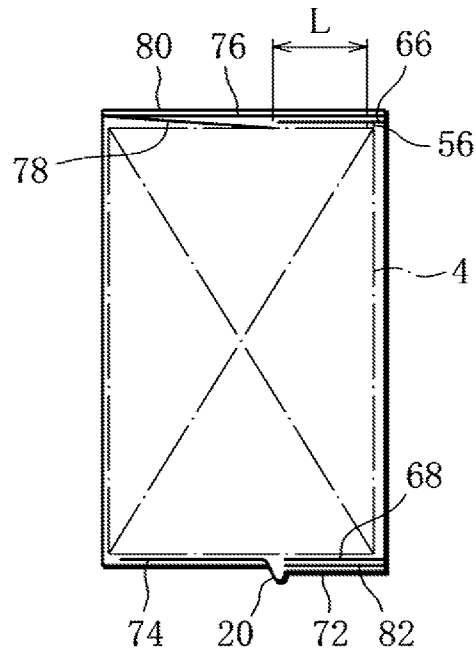
[図8]



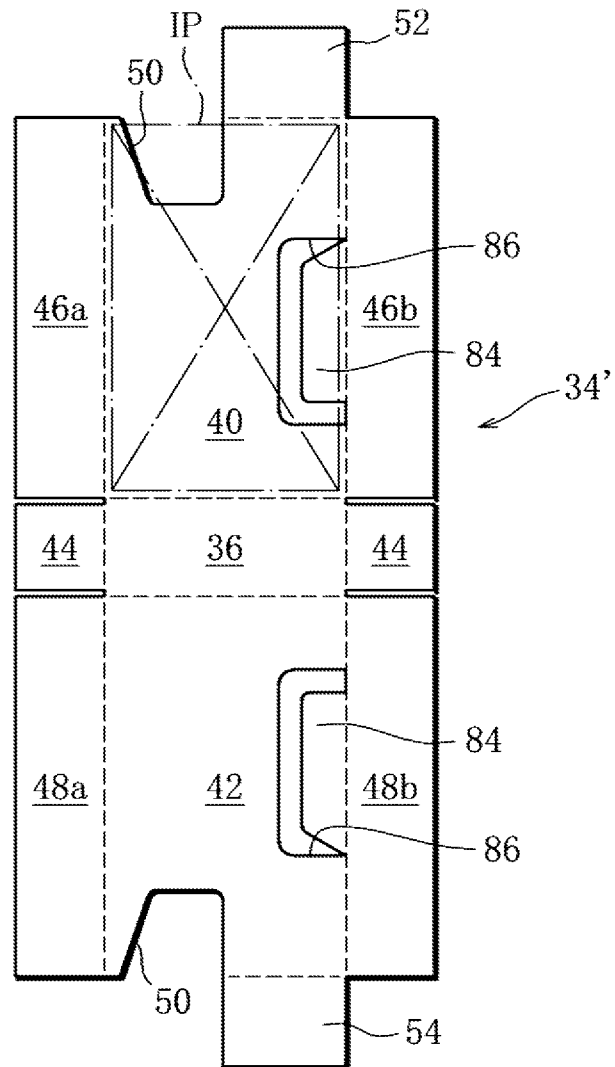
[図9]



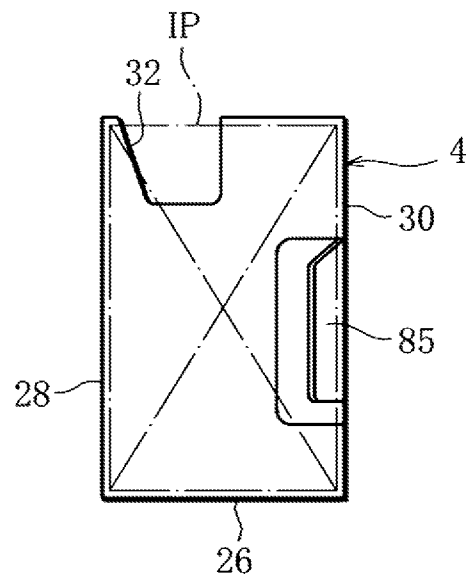
[図10]



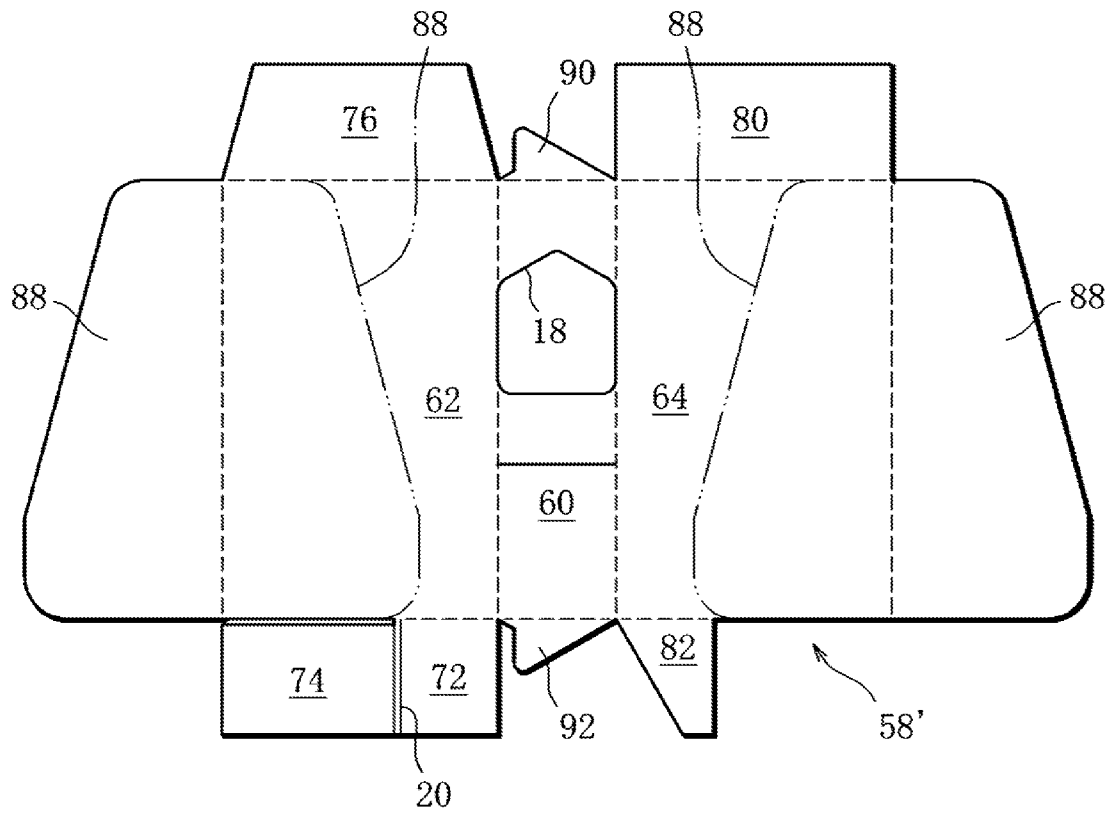
[図11]



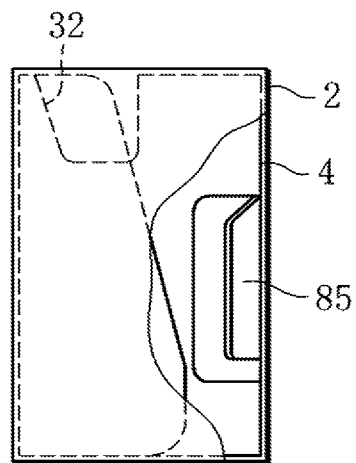
[図12]



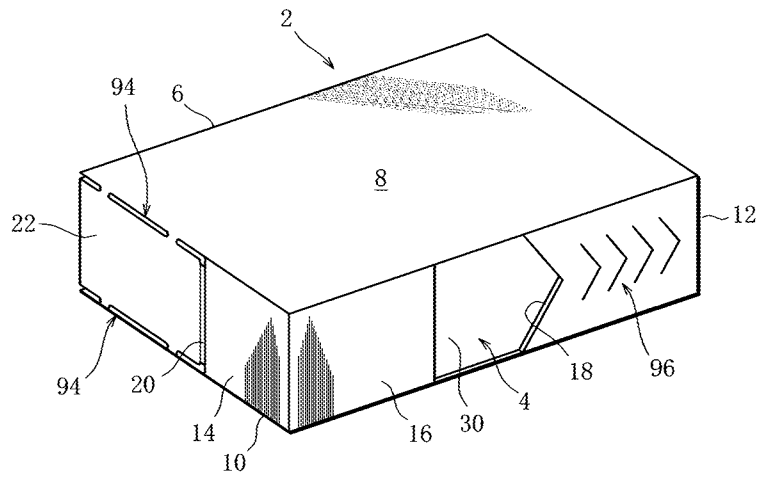
[図13]



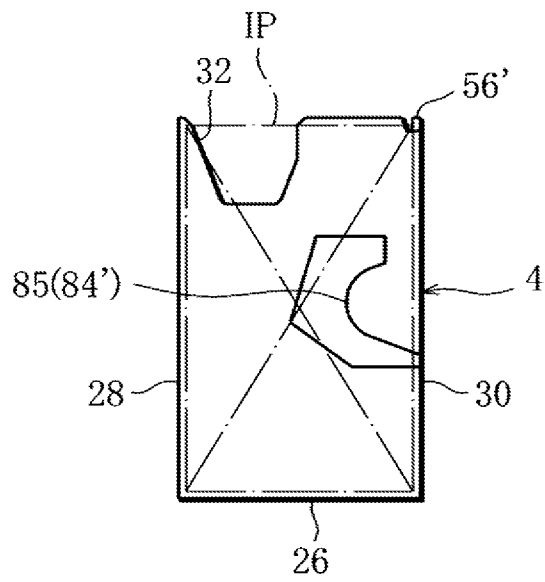
[図14]



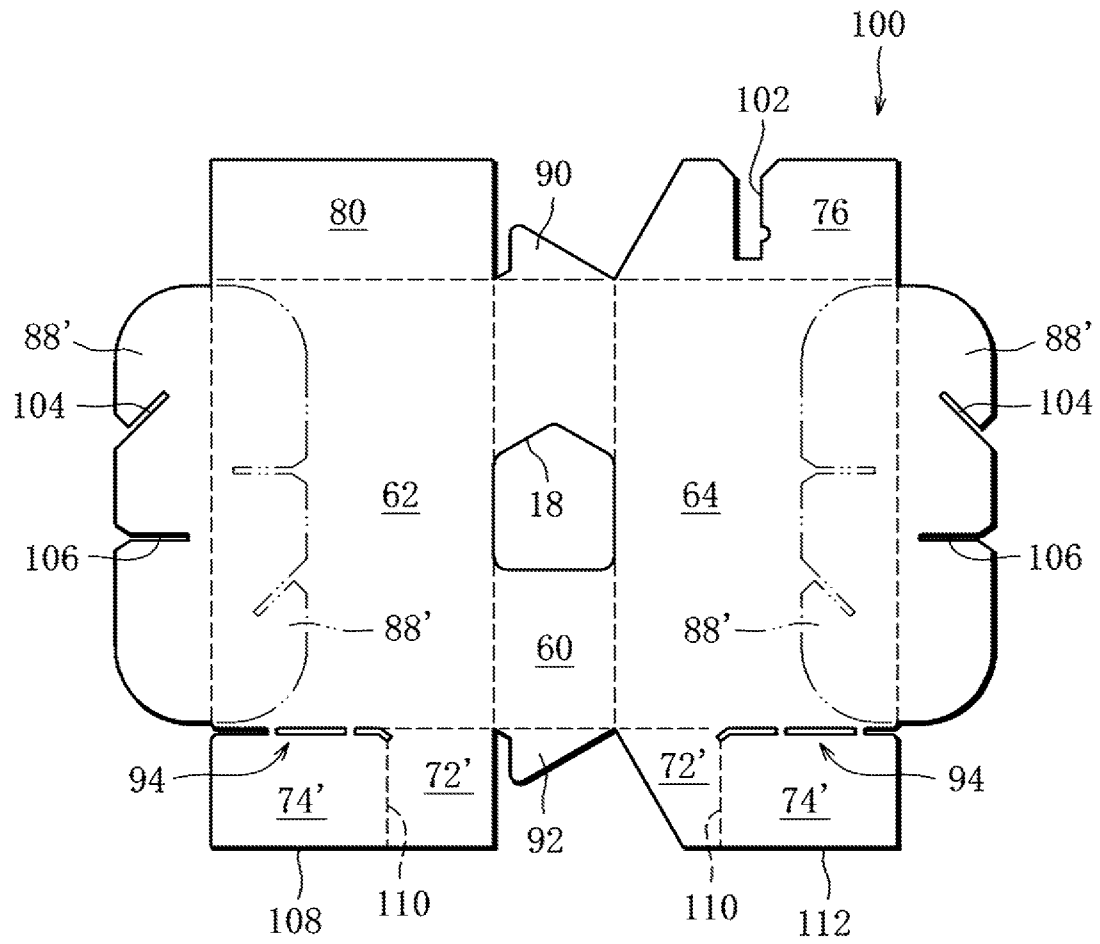
[図15]



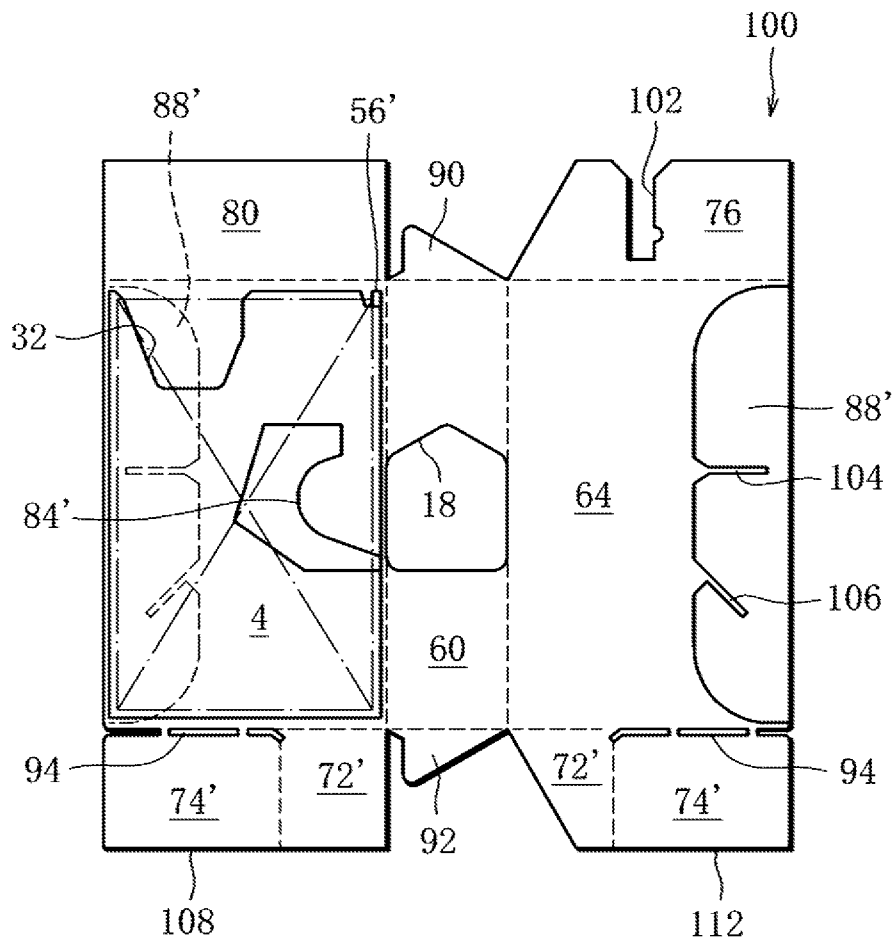
[図17]



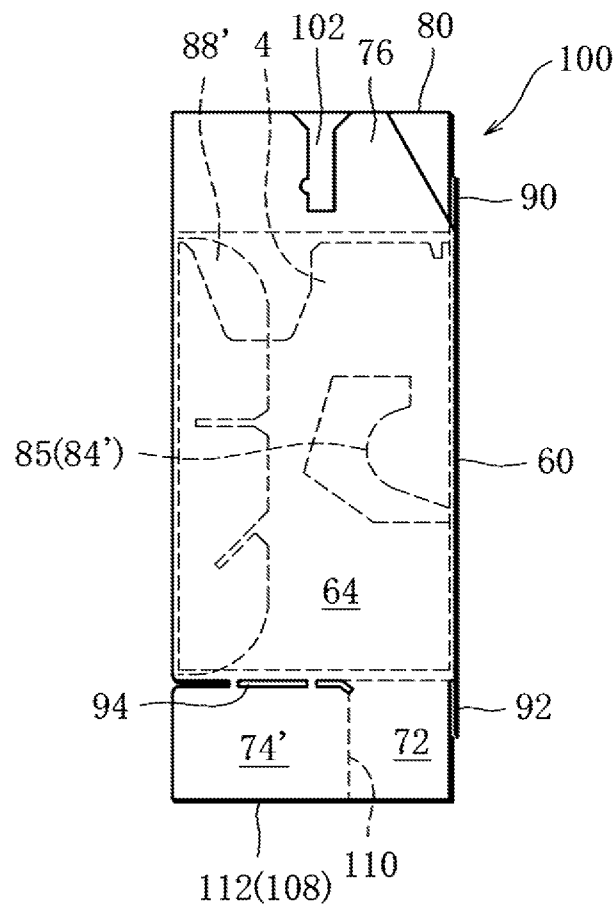
[図18]



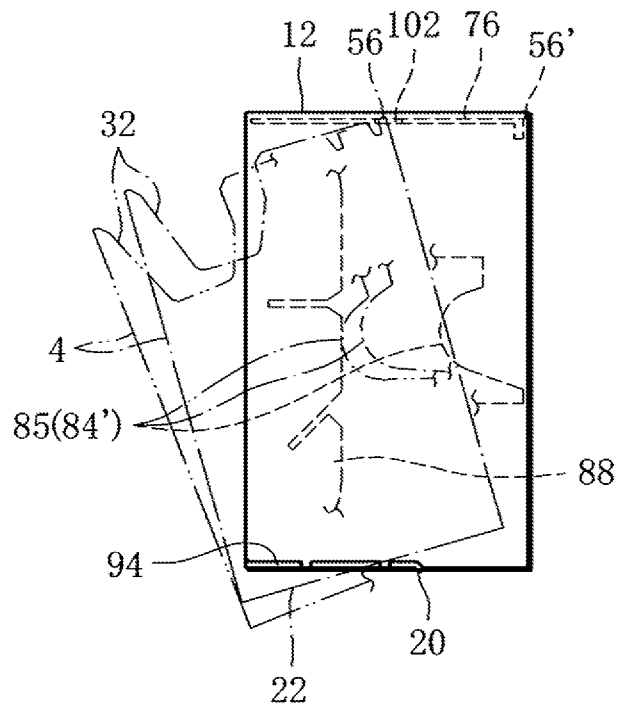
[図19]



[図20]



[図21]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2006/316255

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65D85/10(2006.01) i, A24F15/12(2006.01) i, B65D5/74(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D85/10, A24F15/12, B65D5/74

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2006
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2006	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2006

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 3881599 A (Brown & Williamson Tobacco Corp.), 06 May, 1975 (06.05.75), Full text; all drawings & GB 1487264 A & DE 2502295 A	1-13
Y	US 4534463 A (Ronalds-Federated Ltd., Rolph-Clark-Stone Packaging Division), 13 August, 1985 (13.08.85), Full text; all drawings & GB 2150119 A	1-13
Y	US 4172520 A (Andre Gero), 30 October, 1979 (30.10.79), Full text; all drawings (Family: none)	1-13

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
13 November, 2006 (13.11.06)

Date of mailing of the international search report
21 November, 2006 (21.11.06)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2006/316255

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 56-57660 A (Gaburieru Gero), 20 May, 1981 (20.05.81), Full text; all drawings (Family: none)	1-13
Y	JP 48-24760 B1 (Gaburieru Jiro), 24 July, 1973 (24.07.73), Full text; all drawings (Family: none)	1-13

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D85/10(2006.01)i, A24F15/12(2006.01)i, B65D5/74(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D85/10, A24F15/12, B65D5/74

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 0 6 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 0 6 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 0 6 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	US 3881599 A (Brown & Williamson Tobacco Corporation) 1975.05.06, 全文、全図 & GB 1487264 A & DE 2502295 A	1 - 1 3
Y	US 4534463 A (Ronalds-Federated Limited, Rolph-Clark-Stone Packaging Division) 1985.08.13, 全文、全図 & GB 2150119 A	1 - 1 3
Y	US 4172520 A (Andre Gero) 1979.10.30, 全文、全図 (ファミリーなし)	1 - 1 3

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 3 . 1 1 . 2 0 0 6

国際調査報告の発送日

2 1 . 1 1 . 2 0 0 6

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官（権限のある職員）

山口 直

3 N

8 5 1 0

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 6 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 56-57660 A (ガブリエル・ゲロ) 1981.05.20, 全文、全図 (ファミリーなし)	1 - 1 3
Y	JP 48-24760 B1 (ガブリエル・ジーロ) 1973.07.24, 全文、全図 (ファミリーなし)	1 - 1 3